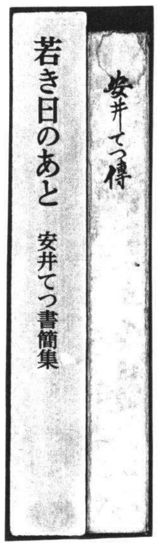
安井てつ（やすい てつ）　女子教育家。明治三年二月二十三日東京駒込曙町生まれ、昭和二十年十二月二日歿（一八七〇―一九四五）。哲、哲子とも署す。明治二十三年高等師範學校女子師範學科卒。二十九年イギリス留學、三十三年歸朝後女子高等師範學校教授兼舎監となり、また海老名弾正より受洗。三十七年暹羅（シャム）（現タイ）政府の招聘でバンコック府皇后女學校教育主任。イギリスを経て歸朝後の四十二年、雑誌『新女界』主筆。四十五年東京女子高等師範學校教授、大正七年東京女子大學學監、のち新渡戸稲造の後（あと）を承けて二代目學長に就任。

著書『久堅町にて』（安井哲子、大正四年六月二十一日警醒社書店）、『若き日のあと―安井てつ書簡集』（青山なを編、昭和四十年十一月二十日安井先生歿後二十年記念出版刊行会）の他、青山なを著『安井てつ傳』（昭和二十四年六月十五日高根女子刊、岩波書店發賣。第二刷・五十一年九月十五日岩垂宣子刊）、『安井てつ先生追想録』（青山なを編、昭和四十一年八月二十日安井てつ先生記念出版会）がある。